



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 三機工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1961 URL <https://www.sanki.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)長谷川 勉
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経理本部長 (氏名)川辺 善生 TEL 03-6367-7084
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	91,845	13.8	3,191	183.3	3,503	127.5	2,485	212.0
2019年3月期第2四半期	80,723	11.3	1,126	130.1	1,540	61.7	796	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 2,478百万円 (28.9%) 2019年3月期第2四半期 1,923百万円 (△4.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	41.71	41.60
2019年3月期第2四半期	13.15	13.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	168,603	90,149	53.3
2019年3月期	195,321	89,772	45.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 89,847百万円 2019年3月期 89,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	40.00	60.00
2020年3月期	—	35.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 特別配当20円00銭

※詳細は本日(2019年11月8日)発表の「剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	△1.1	9,800	△7.9	10,000	△10.7	7,000	△22.6	117.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期2Q	60,661,156株	2019年3月期	62,661,156株
2020年3月期2Q	1,067,694株	2019年3月期	3,067,694株
2020年3月期2Q	59,593,462株	2019年3月期2Q	60,591,866株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想及び個別業績予想につきましては、2019年5月14日発表の数値から変更しております。詳細につきましては、【添付資料】P. 4「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照願います。
本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(参考) 2020年3月期の個別業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	190,000	△1.1	7,900	△2.0	9,600	2.0	7,300	△9.6	122.50

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の我が国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、内需の下支えにより緩やかな回復基調が続きました。

建設投資につきましては、公共投資は前年度を上回る水準となり、国内の民間設備投資は引き続き企業収益が高水準で推移するなか、人手不足への対応などを目的とした設備投資の増加等を背景に堅調に推移しています。

このような環境のなかで、当社グループは、長期ビジョン“Century 2025”で「質」と「信頼」をさらに高め、ステークホルダーの皆さまからもっと「選ばれる」会社を目指しております。当年度は、3カ年の中期経営計画“Century 2025” Phase2の初年度であり、Phase1の「質」を高める取り組みを継続しつつ、新たに「信頼」を高める取り組みを進めてまいります。この実現に向け、引き続き環境変化に柔軟に対応できる企業体制を構築しつつ、新技術の開発、コーポレートガバナンスの一層の強化に取り組み、コンプライアンスの徹底を土台として、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向け鋭意努力を重ねてまいります。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	受注高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
当第2四半期 連結累計期間	100,901	91,845	3,191	3,503	2,485
前第2四半期 連結累計期間	103,819	80,723	1,126	1,540	796
増減	△2,918	11,122	2,065	1,963	1,688
増減率	△2.8%	13.8%	183.3%	127.5%	212.0%

	当期首	当期末	当期首からの 増減	増減率
繰越受注高	149,829	158,885	9,056	6.0%

受注高につきましては、前年同期と比較して29億1千8百万円減少いたしました。売上高につきましては、前年同期と比較して111億2千2百万円の増収となりました。利益面につきましては、増収及び工事採算の改善等により営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれにつきましても前年同期と比較して大幅に増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、建築設備事業、機械システム事業及び環境システム事業につきましては、通常の営業形態として、工事の完成引渡ししが年度末に集中する影響で、売上高及び利益額が第4四半期に偏る季節要因があります。

① 建築設備事業

ビル空調衛生、主に工場向けの空調設備を中心とする産業空調、電気設備及びファシリティシステムに関する事業等、建築設備工事の概ね全てを包含する事業で構成されております。

受注高は796億5千6百万円（前年同期比9.7%減）、売上高は782億3千7百万円（前年同期比11.8%増）、セグメント利益（経常利益）は36億3千5百万円（前年同期はセグメント利益16億円）となりました。

受注高は、主に産業空調分野において前年同期に大型物件を受注した反動等により減少いたしました。

売上高及びセグメント利益（経常利益）は、主に前期からの繰越工事の増加等により増収増益となりました。

② 機械システム事業

主に搬送システム及び搬送機器に関する製造販売事業で構成されております。

受注高は54億7千9百万円（前年同期比16.2%減）、売上高は52億9千4百万円（前年同期比20.9%増）、セグメント利益（経常利益）は4千2百万円（前年同期はセグメント損失7千8百万円）となりました。

売上高及びセグメント利益（経常利益）は、大型搬送用設備の工事進捗が進んだこと等により増収増益となりました。

③ 環境システム事業

主に官公庁発注の上下水道施設及び廃棄物処理施設に関する事業で構成されております。

受注高は149億3千3百万円（前年同期比70.1%増）、売上高は74億1千3百万円（前年同期比20.9%増）、セグメント損失（経常損失）は12億1千2百万円（前年同期はセグメント損失7億5千8百万円）となりました。

受注高は、大型の廃棄物処理施設を受注したこと等により増加いたしました。

④ 不動産事業

売上高は10億5千万円（前年同期比13.7%増）、セグメント利益（経常利益）は2億4千3百万円（前年同期はセグメント利益2億6千6百万円）となりました。

⑤ その他

売上高は4億4千3百万円（前年同期比50.1%増）、セグメント利益（経常利益）は6千8百万円（前年同期はセグメント利益2千6百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,153億6千8百万円（前連結会計年度末比18.4%減）、固定資産は532億3千5百万円（前連結会計年度末比1.4%減）となりました。その結果、総資産は1,686億3百万円（前連結会計年度末比13.7%減）となりました。

総資産の減少の主な要因は、流動資産の受取手形・完成工事未収入金等が減少したことによるものであります。これは当社グループの売上高は期末に集中するため、各四半期連結会計期間末の受取手形・完成工事未収入金等は、前連結会計年度末と比べて減少するという季節的変動によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は645億3百万円（前連結会計年度末比29.4%減）、固定負債は139億5千1百万円（前連結会計年度末比2.0%減）となりました。その結果、負債合計は784億5千4百万円（前連結会計年度末比25.7%減）となりました。

負債の減少の主な要因は、流動負債の支払手形・工事未払金等が減少したことによるものであります。これは総資産の減少要因と同様に、各四半期連結会計期間末の支払手形・工事未払金等は、前連結会計年度末と比べて減少するという季節的変動によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は901億4千9百万円（前連結会計年度末比0.4%増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想及び個別業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、下記のとおり2019年5月14日発表の数値から変更いたしました。

・2020年3月期の通期業績予想数値(2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：百万円)

		売上高	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益 (個別は当期純利益)		1株当たり 当期純利益 (円銭)
			金額	利益率 (%)	金額	利益率 (%)	金額	利益率 (%)	
連結	前回発表予想 (A)	200,000	8,800	4.4	9,000	4.5	6,200	3.1	104.04
	今回修正予想 (B)	210,000	9,800	4.7	10,000	4.8	7,000	3.3	117.46
	増減額 (B-A)	10,000	1,000	0.3	1,000	0.3	800	0.2	—
	増減率(%)	5.0	11.4	—	11.1	—	12.9	—	—
	(参考)前期実績	212,314	10,637	5.0	11,204	5.3	9,046	4.3	150.02
個別	前回発表予想 (A)	180,000	6,800	3.8	8,500	4.7	6,400	3.6	107.39
	今回修正予想 (B)	190,000	7,900	4.2	9,600	5.1	7,300	3.8	122.50
	増減額 (B-A)	10,000	1,100	0.4	1,100	0.4	900	0.2	—
	増減率(%)	5.6	16.2	—	12.9	—	14.1	—	—
	(参考)前期実績	192,183	8,060	4.2	9,408	4.9	8,079	4.2	133.98

当第2四半期連結累計期間において主に大型工事が順調に進捗したこと及び工事採算が改善したこと等により、連結・個別ともに上記のとおり前回通期予想から増収増益を見込んでおります。

なお、連結の通期受注高につきましては、200,000百万円(前回発表予想比5.3%増)を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	42,612	41,865
受取手形・完成工事未収入金等	85,243	56,314
電子記録債権	6,562	6,246
有価証券	2,000	5,100
未成工事支出金	2,049	3,226
原材料及び貯蔵品	558	638
その他	2,316	1,989
貸倒引当金	△0	△12
流動資産合計	141,342	115,368
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	42,214	42,849
減価償却累計額	△32,840	△32,478
建物・構築物(純額)	9,373	10,371
機械、運搬具及び工具器具備品	1,967	1,968
減価償却累計額	△1,601	△1,492
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	365	475
土地	3,450	3,157
リース資産	712	640
減価償却累計額	△319	△326
リース資産(純額)	392	314
建設仮勘定	747	8
有形固定資産合計	14,329	14,328
無形固定資産		
その他	688	693
無形固定資産合計	688	693
投資その他の資産		
投資有価証券	27,879	27,618
長期貸付金	111	97
退職給付に係る資産	4,411	4,378
敷金及び保証金	1,479	1,470
保険積立金	336	512
繰延税金資産	1,264	774
その他	5,559	5,450
貸倒引当金	△2,082	△2,089
投資その他の資産合計	38,961	38,213
固定資産合計	53,979	53,235
資産合計	195,321	168,603

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	68,286	44,735
短期借入金	6,874	6,875
リース債務	392	201
未払法人税等	2,510	509
未成工事受入金	3,395	6,221
賞与引当金	4,180	2,945
役員賞与引当金	242	106
完成工事補償引当金	360	847
工事損失引当金	480	194
その他	4,594	1,866
流動負債合計	91,317	64,503
固定負債		
長期借入金	5,220	4,525
リース債務	280	362
退職給付に係る負債	3,120	3,269
役員退職慰労引当金	52	39
損害賠償引当金	190	190
繰延税金負債	40	48
その他	5,328	5,516
固定負債合計	14,232	13,951
負債合計	105,549	78,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,105	8,105
資本剰余金	4,181	4,181
利益剰余金	73,250	71,150
自己株式	△3,700	△1,287
株主資本合計	81,836	82,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,450	9,429
為替換算調整勘定	△94	△171
退職給付に係る調整累計額	△1,652	△1,559
その他の包括利益累計額合計	7,704	7,698
新株予約権	231	302
純資産合計	89,772	90,149
負債純資産合計	195,321	168,603

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高		
完成工事高	79,710	90,685
不動産事業等売上高	1,012	1,159
売上高合計	80,723	91,845
売上原価		
完成工事原価	69,302	77,941
不動産事業等売上原価	649	735
売上原価合計	69,951	78,676
売上総利益		
完成工事総利益	10,407	12,744
不動産事業等総利益	363	424
売上総利益合計	10,771	13,168
販売費及び一般管理費	9,644	9,976
営業利益	1,126	3,191
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	336	336
その他	212	159
営業外収益合計	559	506
営業外費用		
支払利息	72	63
その他	73	131
営業外費用合計	146	194
経常利益	1,540	3,503
特別利益		
固定資産売却益	—	258
投資有価証券売却益	240	—
特別利益合計	240	258
特別損失		
固定資産除却損	124	29
環境対策費用	63	69
事務所移転費用	6	50
関係会社出資金評価損	197	—
特別損失合計	391	148
税金等調整前四半期純利益	1,389	3,613
法人税、住民税及び事業税	333	663
法人税等調整額	259	463
法人税等合計	593	1,127
四半期純利益	796	2,485
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	796	2,485
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	877	△21
為替換算調整勘定	△70	△77
退職給付に係る調整額	319	92
その他の包括利益合計	1,126	△6
四半期包括利益	1,923	2,478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,923	2,478
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,389	3,613
減価償却費	531	792
固定資産除却損	124	29
環境対策費用	63	69
事務所移転費用	6	50
関係会社出資金評価損	197	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11	19
賞与引当金の増減額(△は減少)	△488	△1,234
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	629	276
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△13
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△197	△285
受取利息及び受取配当金	△346	△347
支払利息	72	63
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△258
投資有価証券売却損益(△は益)	△240	—
売上債権の増減額(△は増加)	10,409	29,496
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△1,380	△1,066
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,014	△23,810
未成工事受入金の増減額(△は減少)	2,241	2,753
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,002	△2,900
その他	△909	618
小計	5,073	7,866
利息及び配当金の受取額	346	347
利息の支払額	△65	△56
法人税等の支払額	△3,686	△2,670
環境対策費用の支払額	△182	△110
事務所移転費用の支払額	△51	△7
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,434	5,369
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△11,000	△8,000
有価証券の償還による収入	10,700	8,000
有形固定資産の取得による支出	△2,002	△1,375
有形固定資産の売却による収入	0	754
有形固定資産の除却による支出	△554	△29
投資有価証券の取得による支出	△15	△14
投資有価証券の売却による収入	580	—
貸付けによる支出	△3	—
貸付金の回収による収入	8	14
保険積立金の払戻による収入	29	14
その他	203	52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,051	△584
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△18	0
長期借入金の返済による支出	△695	△695
自己株式の取得による支出	△0	—
ストックオプションの行使による収入	0	—
リース債務の返済による支出	△81	△105
配当金の支払額	△1,211	△2,383
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,007	△3,184
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46	△46
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,671	1,554
現金及び現金同等物の期首残高	44,866	42,612
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	698
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,195	44,865

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

(連結の範囲の重要な変更)

非連結子会社でありました三機建筑工程(上海)有限公司につきましては、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	建築設備 事業	機械 システム 事業	環境 システム 事業	不動産 事業	計				
売上高	69,993	4,377	6,132	923	81,426	295	81,721	△998	80,723
セグメント利益 又は損失(△)	1,600	△78	△758	266	1,029	26	1,056	483	1,540

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び保険代理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額483百万円には、各報告セグメントに配分していない全社損益132百万円、社内上各セグメントに配賦した金利負担の戻入額117百万円、各セグメントに帰属する固定資産除却損、事務所移転費用及び関係会社出資金評価損を特別損失に計上したことによる調整額233百万円が含まれております。なお、全社損益の主なもの、各セグメントに帰属しない利息及び配当金、全社費用の配賦差額などがあります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	建築設備 事業	機械 システム 事業	環境 システム 事業	不動産 事業	計				
売上高	78,237	5,294	7,413	1,050	91,996	443	92,439	△593	91,845
セグメント利益 又は損失(△)	3,635	42	△1,212	243	2,710	68	2,779	724	3,503

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び保険代理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額724百万円には、各報告セグメントに配分していない全社損益506百万円、社内上各セグメントに配賦した金利負担の戻入額139百万円、各セグメントに帰属する固定資産除却損、事務所移転費用等を特別損益に計上したことによる調整額79百万円が含まれております。なお、全社損益の主なものは、全社費用の配賦差額などがあります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益と調整を行っております。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、2019年8月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の消却を行いました。これによる当第2四半期連結累計期間の消却による自己株式及び利益剰余金の減少額は2,412百万円となり、当第2四半期連結会計期間末の自己株式は1,287百万円となっております。